

平成 29 年度 第 1 回霧島市歯科保健専門委員会 会議趣旨

開催日時	平成 29 年 7 月 18 日 (火) 19:30~21:00		
開催場所	国分シビックセンター公民館 3 階 大研修室		
出席委員	久留委員長、宮川委員、東委員、有川委員、磯脇委員、佐々木委員、碓元委員、今出委員、請園委員、木野田委員、松元委員、中井委員、福元委員、石塚委員		
事務局	林健康増進課長、中村健康増進グループ長、吉村健康づくり推進室長、上小園健康づくり推進室サブリーダー、池田長寿・障害福祉課長、住吉長寿福祉グループ長、末満安全・保健体育グループ長、下津曲主査、西主査、曾山囑託歯科衛生士、小島主査、新村主事、池田主事		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
議事 (1) 「健康きりしま 21(第 2 次)」の評価、「健康きりしま 21(第 3 次)」の計画について (2) 平成 28 年度歯科保健事業報告及び平成 29 年度歯科保健事業計画について (3) その他			
協議結果等の概要 委 ：委員 事 ：事務局 (1) 「健康きりしま 21(第 2 次)」の評価、「健康きりしま 21(第 3 次)」の計画について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。			
【霧島市の歯科検診について】 委 ：霧島市の各歯科検診の受診率を上げるための対策はどのように考えるか。歯周病検診の対象を節目年齢ではなく、40 歳以上全員など、より幅広くなならないか。 事 ：マタニティ歯ッピー検診に関しては、今年度より母子健康手帳に受診券を挿入して製本している。歯周病検診については、案の段階ではあるが脱漏検診を検討している。対象年齢の拡充については、予算にも関係してくるため、積算をして検討したい。			
【幼稚園等、学校のフッ化物洗口】 委 ：フッ化物洗口について、ブクブクうがいができず、口に含むだけでも効果はあるか、誤飲はどれくらいの量であれば心配する必要はないのか。 委 ：ぶくぶくうがいができる事を基準としている。1 回分を誤飲したからといって、中毒を起こすわけではない。 委 ：学校は、各校で教育課程に基づいて校長を中心に対応している。学校単位での共通しているのは、むし歯等がある子の保護者に報告し早めに治療に行っていただくよう指導している。 委 ：各学校の学校歯科医師と安全に実施できるように、サポートしていきたい。 委 ：市のフッ化物洗口の説明会が順次開催されており、各学校薬剤師が薬剤師の立場からフッ化物の安全性等の勉強会を開催している状況である。今のところはフッ化物に関して大きな声が出ているということは聞いていない。役割は果たせているかと思う。			

【妊婦歯科検診・産婦人科】

- 委**：妊婦検診、母親学級等に積極的に参加する母親は、健康に関する認識が高く、歯の大切さにも認識がある。受診しない理由は様々あり、どのように受診に促すか悩んでいる。鹿児島市では、母子健康手帳交付時に、歯科検診が実施される。
- 委**：妊娠中の方は、ナーバスになっていることも多い。可能であれば、歯科受診の敷居が低くなるような情報を、歯科一覧表に掲載して欲しい。
- 事**：今年度より、委託歯科医院一覧に、キッズスペースの有無、診療時間、休日等を掲載している。ご活用いただきたい。

(2) 平成 28 年度歯科保健事業報告及び平成 29 年度歯科保健事業計画について

⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。

【介護予防事業】

- 委**：国の施策として地域包括ケアシステムが推し進められているが、霧島市として高齢者の口腔ケアや口腔機能改善ならびに在宅で歯の治療を受ける事になる方も増えて行くと思うが、どのように考えているのか。
- 事**：一番大事なことは高齢者に限らずだが、口から食事をすること、そして食事を楽しむこと、このことが非常に重要なことだと考えている。
歯科の訪問指導についてだが、一般の方々が訪問指導そのものを知らない方も多いうということもあり、市の広報誌で「在宅の歯科診療をご存知ですか」という内容でお知らせをしたいと思っている。合わせて介護保健事業所関係の会合でも同様の広報をしたいと考えている。
検診等については、それぞれの介護予防のプログラムの中で組み込んでいるものでまずは進めていきたいと考えている。
地域包括ケアについては、国が示している 5 つの様々な機能を地域の中で 完結をするということだが、まずは地域包括ケアにおける医療・介護の連携が非常に大きな課題だと考える。それを含めて今後、歯科医師会、医師会、薬剤師会、あるいはそれ以外の多職種の共同の会合で、様々な医療介護の専門職の方々の協力をいただき、一緒に考えながら進めていきたい。
- 委**：介護予防生活支援総合事業は今年度から市町村で、ということになっているが、短期集中型予防サービスの中に口腔ケアや口腔機能の向上がある。市民に向けての周知はどのように行われるのか。市で事業する場合はどうなるのか。
- 事**：短期集中型のプログラムについては身体状況を把握するための基本チェックリストがある。スクリーニングを行って該当した人に対して地域包括支援センターを通じて個別に受診勧奨をしていく。
- 委**：現実的な困り事は地域包括支援センターにくると思うが、歯科医師会に作って欲しい体制などあるか。訪問診療も全ての歯科医が対応できるわけではないため、特に求められている事をお聞きしたい。
- 委**：介護予防のサービスを利用する場合は担当のケアマネージャーが一人つく。ケアマネージャーがどういった視点でその人を診るかが重要になってくる。歯科の先生方からの助言をいただけたらと思う。ケアマネージャーを対象にした研修で歯科の先生方より、歯科診療に繋がるための診る視点等の研修をお願いできればと思っている。

また、訪問歯科診療だが、例えば寝たきりの方など、対象の方はいるのか。

委：訪問歯科診療は寝たきりに準ずる方というルールがある。単純に麻痺で体が動かないという理由だけでなく、重度の認知症で外出が困難な場合に関しては訪問歯科診療を国が認めている。

また、見方が難しい部分もあるが、やはりケアマネージャーにしっかり診ていただくことが大事なことである。口の中は後回しになってしまいがちである。口腔内の改善が、運動機能などいろんなことの改善に繋がる可能性があるため、周知していただきたい。

委：主治医と介護支援専門委員との連絡票というものがあってFAXで連絡をとり、連携を図っているが、歯科医師の先生方とは例えばこのような連絡を取ることはできるのか。

委：必要であれば、その体制を整備していこうとは考えている。欲しい情報、やり取り方法を出していただければと思う。訪問歯科診療の先生と、連絡を取りながら作っていったらと思う。

委：歯の治療や口腔内はもちろんだが、嚥下や飲み込みといった面ではどういった連携が取れるのか。

委：連絡票を使って飲み込みが何回できるか、ある程度の発音ができるのかという評価をしていき、それから先をどうやって進めていくのかは歯科医師のスキルの問題もあるからまた先の話になると思う。摂食嚥下は非常に重要だと思う。飲み込みができないと入れ歯を入れても食べられない。飲み込みができて初めて歯の意味がある。摂食嚥下というのは歯科医師会でも言われていることだが、すごく難しい問題でもある。なにかしらピックアップをしてリハビリにもっていったら非常に良いと思う。

委：毎日どういう食事をしているかということのをケアマネージャーに把握していただき、情報をこちらにいただけたらと思う。

委：医師の立場として、実際に現場で働いている方々との連携、各部署との連携を取っていくことが一番大切なことだと思っている。

【8020運動・お口元気ハッピーについて】

委：市民が8020運動の表彰前の検診や、歯周病検診と県のお口元気歯ッピー検診の勘違いして、受診しないということはないか。また、お口元気歯ッピー検診というのは県の事業だが、その情報は霧島市にきているのか。

事：お口元気歯ッピー検診についてだが、鹿児島県後期高齢者医療広域連合が取りまとめて事業で、対象が75歳になった方となっている。霧島市で実施している歯周病検診は70歳までの対象になるという点で判断をしていただければと思う。

県からの情報では、霧島市の受診者が1181人中161人、受診率が13.6%であった。検診時にとる問診結果に関しては現在集計中であり、分かり次第提示できればと考えている。

【口腔がん検診について】

委：鹿児島県は口腔がんの死亡率が高いが、霧島市には口腔がん検診の対策事業の計画または、歯科医師会が健康福祉まつりでやっている口腔がん検診に対する補助の考えなどはあるか。

事：口腔がん検診の必要性は認識している。霧島市としても今後健康増進課の事業とし

て取り入れることができないか、30年度以降の事業として検討している。口腔がん検診に関して、専門的な始良地区歯科医師会の霧島支部の先生方と、検診体制についていろいろとご教示いただきながら事業化にむけて検討していきたい。口腔がん検診について私からお聞きしたい。現在行われている歯周病検診の中で、口腔がんではないかというような口腔内の異常を、通常の歯周病検診の中で口腔がんの専門の先生に紹介していただくことは可能か。

委：県の歯科医師会で口腔がん検診の研修会を行っていて、今年度から事業化されている。その研修を受けた歯科医師と行政との協力や、情報の共有化は可能だと思う。実際、明らかにおかしい病変だったら高度の専門医療機関に紹介できるシステムを持っている。歯周病検診はがん検診も兼ねて受けることができる旨をお伝えしていただければと思う。

【条例について】

委：歯科保健の条例を検討していただきたい。

事：将来的には条例を作ることも必要かと考えている。今後他の自治体の状況等の勉強をさせていただいて、検討したいと考えている。

(3) その他

会議資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">○会次第○平成 29 年度霧島市歯科保健専門委員会委員名簿○霧島市健康・生きがいづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱○健康きりしま 21(第 2 次)評価及び健康きりしま 21(第 3 次)計画について○市民アンケート調査の結果○平成 28 年度歯科保健事業報告及び平成 29 年度歯科保健事業計画○平成 28 年度 8020 運動達成者表彰について
------	---